



ごあいさつ

杉循環器科内科病院 院長 杉 健 三

日本は世界の歴史上例を見ない超高齢社会に突入しつつあります。総人口の減少と高齢人口の急速な増大により、2050年には65歳以上の高齢者1人を20～64歳の若年人口1.2人で支えて行く社会が到来すると推計されており、同時に認知症高齢者、独居高齢者や高齢者のみの所帯が急速かつ確実に増加して行きます。

そのような状況に対処するために、国は医療機関の機能分化・連携の強化とともに地域包括ケアシステムの構築を急いでいます。地域包括ケアシステムとは、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問口腔ケア、訪問薬剤指導など多職種による医療・介護サービスなどが連携することにより、今後増え続ける高齢者が可能な限り住み慣れた地域の中でその有する機能に応じて自立した生活を営んで行けるように、住環境、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供するための、医療と介護の連携システムのことです。

今後は、在宅医療の充実および病院・有床診療所の病床運営の規制が更に進むような施策が行われて行きます。

大牟田市では既に65歳以上の高齢者は38,803人を数え、高齢化率31.6%、高齢者のいる世帯数28,844戸、高齢者単身世帯数12,924人(いずれも平成25年10月現在)であり、みやま市でも、高齢者は1,2768人、高齢化率31.7%に達しています。この地域は来るべき高齢社会を先取りしているのです。

杉循環器科内科病院では、この2011年7月より訪問看護や訪問リハビリテーションへの対応を始めました。更に柳川すぎ病院を開設しました。また、関連の社会福祉法人木犀会ではこれまでの小規模多機能施設の運営に加えて特別養護老人ホームを建設中です。

これらは、今後に予想される医療・介護・福祉に関わる施策に対応して行くことで、高齢先進地と言われるこの地域に住む方々がいつまでも自分らしい生活を安心して継続して行くことに少しでもお役に立てるようと言う考えから企画実行していることなのです。将来にわたって、これまで以上に医療と介護を通じて私たちは有明地域に貢献して行きます。

ご挨拶

柳川すぎ病院 院長 堀内 雅彦



昨年8月に柳川市三橋町高畑に私共の医療法人シーエムエスが主導して新しく柳川すぎ病院が開設され、これに伴い私が大牟田杉循環器科内科病院から出向となり、同11月より院長として就任をしております。

元々は旧鎌田外科病院として外科系医療施設であったものを引き継ぎ、その機能と装いを内科系病院へと新たにしていまして診療を始めています。

当院はこれから内科系疾患の急性期から亜急性期を経て慢性期に至るまで、この地域の医療需要に適う診療内容を提供出来るようにさらに体制を整えていきたいと考えており、現在の標榜診療科は「内科」のみですが、今後は循環器、呼吸器、消化器などの各診療科を設け、当院を受診される患者さんの症状、病態に沿った細かな診療ができるように早急に体制を整えていきたいと思っております。

病院の所在地は有明海沿岸道路と国道443号(柳川南関線)とが交わる蒲船津西交差



点から柳川市街地方面へ西側に少し向かった所にあり、西鉄柳川駅からは徒歩数分の距離で、交通の利便性はとても良いと思われます。

現在、柳川市やみやま市近郊などから大牟田杉循環器科内科病院に通院していただいている患者さんの中で、病状が安定するも通院は必要であるにもかかわらず、交通手段や付き添いの方の事情などから大牟田方面への通院が距離的、時間的に困難な方には当院の診療体制が整った暁には杉循環器科内科病院と同程度の診療レベルを維持しながら、通院の利便や受診のお役に立てるようになるのではないかと考えております。

なお、私の柳川すぎ病院への移動出向に伴い、杉循環器科内科病院での呼吸器科の診療日は下記のように変更になっておりますので、よろしくお願い申し上げます。

杉循環器科内科病院 呼吸器科診療日

診療日

毎週月曜日および木曜日の午後より

診療時間

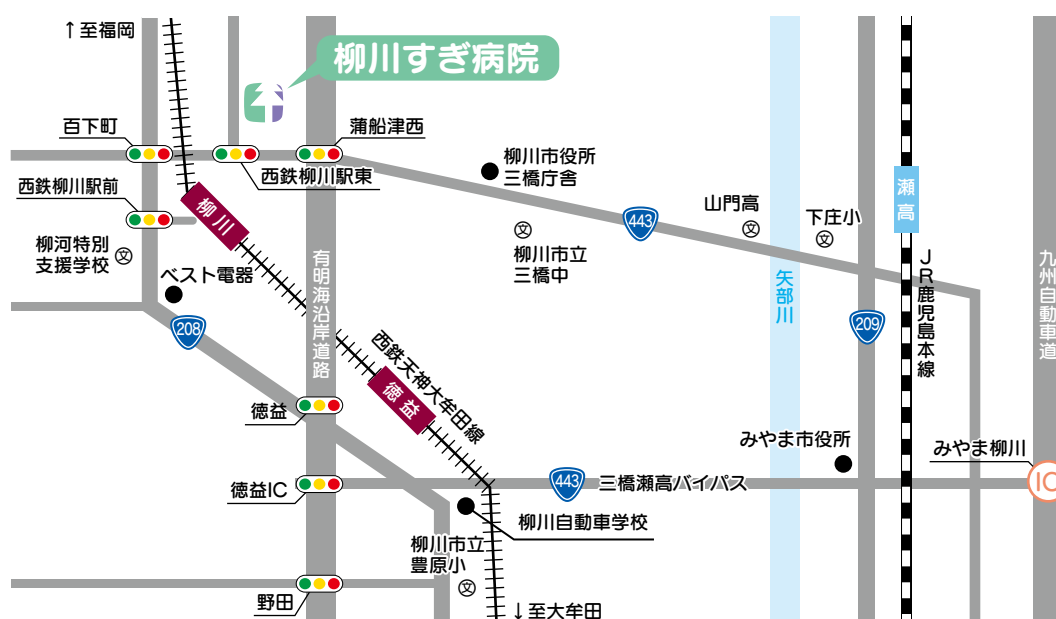
14:00～18:00(基本的には要予約)

柳川すぎ病院

柳川市三橋町高畑263-1

TEL 0944-72-7171 FAX 0944-72-7173

診療科目	
内科	
診療時間	
月曜～土曜	
午前 8:30～	午後 12:30
午後 1:30～	午後 6:00
日曜・祝日休診	
柳川すぎ病院	



地域医療連携室の活動紹介

地域医療連携室 室長 板倉 洋子

地域医療連携室？どんな職種の人が何をする所なのだろうかと疑問に思っている方が多いのではないのでしょうか。

地域医療連携室とは患者さん・ご家族が安心して治療・ケアを受けられるように地域の病院・診療所・市町村や施設・介護サービス事業者などと連携しながら支援を行うと共に患者様やご家族の様々な問題についてのご相談をお受けしています。

例えば、こんな時ご相談下さい。

- ・医療費、生活費等の経済的な心配。
- ・健康保険・介護保険や障害者関連の制度やサービスについて知りたい
- ・転院先や退院後の療養生活に心配があるとき
- ・家庭復帰や職場・社会復帰に関する問題について
- ・訪問看護・訪問リハビリの利用方法について
- ・受診や入院について、
- ・様々な福祉制度について、

誰に相談したらよいかわからないこと等担当の社会福祉士・看護師が直接お話を伺い、一緒に考えながら、解決に向けてお手伝いさせて頂き、安心して療養生活が過ごせるようにお手伝いをさせて頂きます。

相談は無料ですので、まずはお気軽にご相談ください。相談内容については秘密を厳守いたします。

また必要に応じ退院調整を行い、地域医療機関や保健、福祉と連携を図り、在宅療養や転院に向け調整し、切れ目のない医療・介護サービスが提供できるように日々奮闘しています。

関連機関である社会福祉法人木犀会は現在ケアハウスやぶつばき、小規模多機能施設こどうを運営していますが、病院の北側に新しく特別養護老人ホーム「すぎの木」が来年の3月に開設します。入居者一人一人の尊厳を重視し、個人の自律を尊重するための個室を1ユニット10人以下のグループに分けそれぞれを1つの生活単位とし、少人数の家庭的な雰囲気の中でケアを行う新しいタイプの施設です。入居料金は介護度・収入によって異なります。入居者募集していますのでお問い合わせ下さい。



特別養護老人ホーム「すぎの木」 平成26年3月開設予定

お問い合わせ

社会福祉法人 木犀会 特別養護老人ホームすぎの木 開設準備室
住所：大牟田市青葉町130番地の2 電話：0944-55-6666

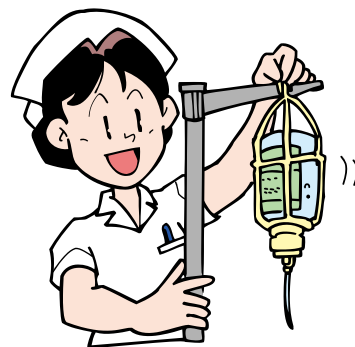
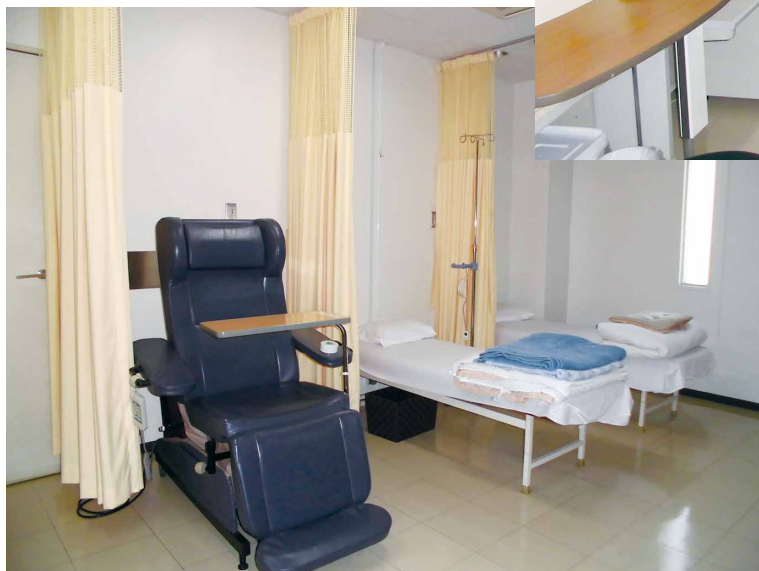
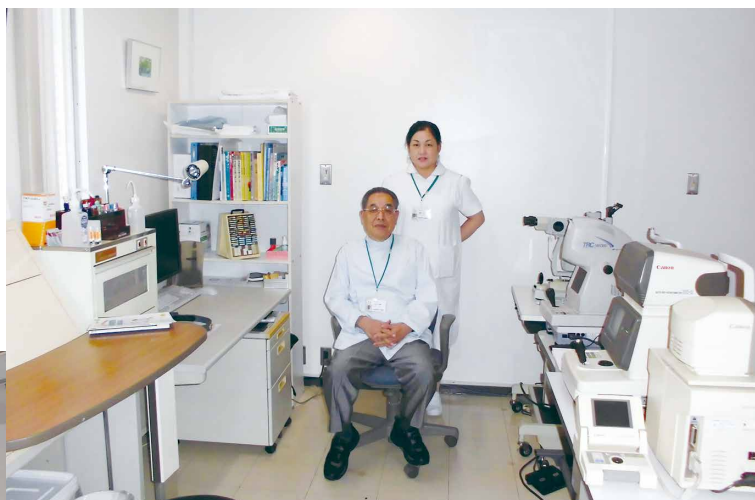
外来フローア改修及び眼科新設

外来看護師 師長 石井 信子

近年、患者さんも高齢化となり眼科の需要も多い現在、当院でも平成25年7月17日(水)から月・水・金の午前中(9時～13時)大林先生の眼科外来が新設されました。

外来の患者さんは元より透析患者の定期検査、健診、入院中の患者さんの往診と幅広く診察して頂きとても助かっています。患者さんからも「外来受診時に一緒に診察して頂いて良かった」との言葉も聞かれるようになり喜ばしく思っています。眼科のみで受診される患者さんも日々増えてきていますのでこれからも協力して、待ち時間を考慮し患者さんが満足して診療を終えられるよう援助していこうと思っています。

眼科新設を基に1Fフロアの改修工事が行われ、念願であった点滴室(ベッド3台)を設けることができました。今まで狭い処置室で我々も動きがとりにくく、患者様には不自由な思いをおかけしてしまい、とても申し訳なく思っていました。これからは、静かな環境の下、点滴治療を受けていただけるのではと、とても嬉しく思っています。





糖尿病教室、始めました。

外来看護師 坂田 桂子

病院の受け付けカウンター、外来処置室、病棟の掲示板などでポスターを見たことがある方もいらっしゃるかと思います。

10月から毎月 第2木曜日 午後3時から30分程度の時間 どなたでも参加できます。

1回目は医師から糖尿病について、2回目は管理栄養士から食事療法について、3回目は理学療法士から運動療法について、4回目は薬剤師より内服、インスリン療法について、5回目検査技師よりは検査データについて、6回目は看護師より日常生活での合併症予防について教室を行うます。

全行程6回 終了後は1回目から繰り返し行っていく予定です。

各種パンフレット、フードサンプル、なども用意して皆様の参加をお待ちしております。

すでに糖尿病の診断を受け、治療を継続されている患者さんは、いまさら勉強しても仕方がない、先生が処方されている薬を飲んでいるから大丈夫、そう思っておられる方も多いと思います。

糖尿病は自己管理がとても大切な病気なのですが、逆にいうと自己管理さえできていれば普通の人(糖尿病ではない人)となんら変りない生活ができるのです。

治療の三本柱は食事療法、運動療法、薬物療法ですが、特に大事なことは、自己管理だと言われています。

自己管理って大変そう、できそうにない 続けるなんて無理、そう思われる方こそ、糖尿病教室に参加して頂き、病気について知識を深めていただくことで、自分でもできる事、やれそうだなと思える事を発見して頂けたら幸いです。

糖尿病教室では、疑問、質問なんでも受け付けます、少人数で行っております、それでも人前で聞きにくいことは、直接スタッフにお尋ねください。

まだまだスタートしたばかりなので、糖尿病教室にたずさわるスタッフ自身、手探り状態ですが、より良い内容のものになるよう努力していくとともに、患者さん自身の療養生活が有意義なものになるよう、スタッフ一同 お手伝いさせていただきたいと考えております。



心リハチーム立ち上げについて

病棟看護師 上原 弘恵

まず、心臓リハビリテーションとは「心血管系疾患の再発予防、機能改善、予後の改善を目指す心臓病患者に対して行われる長期的包括的なプログラム」と定義されています。つまり、心疾患（心筋梗塞や狭心症、心不全など）を持つ患者さんへの『積極的治療』のひとつだということです。今回、この治療をサポートしていくために医師・看護師・理学療法士・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・医療ソーシャルワーカー・事務などの多職種で結成された「心臓リハビリテーションチーム」が立ち上げられました。

心疾患を持つ患者さんの多くは高血圧・脂質代謝異常・糖尿病・喫煙・肥満などの生活習慣病に



関与していますが、入院して無事に自宅に帰ったとしても、入院前の生活を改善しなければ再発を繰り返してしまいます。そこで入院中から外来通院に至るまで私達チームが情報を共有し、連携を図り、運動療法や食事療法がスムーズにすすめられるよう活動していくことを目的としています。例えば理学療法士は自宅でも簡単にできるような運動の方法を、管理栄養士は塩分控えめな食事方法を、看護師は患者さんが自分自身の身体を知るよう自宅でも血圧や体重を測り変化に気付くことが大切だということの必要性を説明・指導していきます。



当院では、週に1度の回診と多職種による話し合いを行ない、「この患者さんは現在どのような状況で、どのような支援を必要とし、どのように関わっていけばよいのか」を考えており、入院中だけではなく退院後の生活がより良いものとなるようにサポートしていきます。

感染防止対策チームの 取り組み

病棟看護師 副主任
堀上 恵美



近年、病院内で発生する様々な感染症に対して、迅速かつ専門的な知識に基づいた対応が求められるようになりました。平成24年度の診療報酬改定により、感染防止に対する加算が一部変更になりました。今回の改定においては「感染対策」に関する取り組みの推進が挙げられており、当院でも感染防止対策加算2を取得し感染防止対策チーム(インフェクションコントロールチーム)を設置しました。

感染対策チームは専任医師、専任看護師、専任薬剤師、専任検査技師で構成しています。感染対策委員会と連携を図り定期的な院内ラウンドを行ったり

り、感染対策マニュアルの改訂、感染対策の把握、指導、抗菌薬の適正使用、地域の病院とのカンファレンスに参加するなどの取り組みを行っています。年4回予定されている地域連携カンファレンスでは他施設の感染対策がどのように行われているのか知る事ができ、地域で連携して感染対策に取り組むことの大切さを実感しているところです。

院内感染を防ぐ為には全職員が感染に対して知識を持ち実践していくことが大切になってきます。私たちが日々行う医療行為の一つ一つが感染管理につながるということを重要視し、患者さんが安心して治療できるよう院内の環境整備に努め、より良い感染対策を実践していきたいと思います。

また院内、院外の医療チームと連携を図り、地域で感染防止対策に取り組んで行きたいと思います。



第3回 透析セミナー開催

透析室 看護師副主任 金子まゆみ

10月6日(日)に、透析患者さんご家族の方対象に、第3回杉病院透析セミナーを行いました。

透析患者さん54名、御家族10名が参加され、スタッフの参加を合わせると101名でした。

杉病院腎友会会長である坂井光則氏の腹膜透析治療から始まり、現在の血液透析に至る迄の16年の透析闘病生活の体験談を話して頂き、会場からはうなずきあり、其々の患者さんの心に響くものがあり熱心に聴いてありました。

今年は、シャント管理をテーマに患者さん自身が日常において、シャント観察「見る・触る・聞く」を習慣付けること、シャントは透析患者の命綱であることを安達先生から説明されました。

患者さんの中には、今回習った体操やシャントの観察・塩分・水分の管理を実際行っている熱心な方もいました。また「先生のお話は勉強になり、看護師、栄養士のお話は解りやすかった、一



度だけでは覚えられないが、セミナーに参加することで覚えるので今後も継続してほしい」という意見や「違う曜日の患者さんとの交流もできる」との声も聞かれ、とても有意義なセミナーだったと思います。

今後も患者さんの意見や情報を取り入れながらより解りやすく楽しいセミナーにしていきたいと思います。



おすすめレシピ

杉病院



ぶり（鰯）と野菜の照り煮

冬が旬のぶりは脂がのって美味しく、中性脂肪値を低下させる働きのあるDHA・EPAに富み栄養価も高い食材です。炊き合わせている根菜類には体を温める作用があります。レンコンにはムチンが含まれているので、胃腸の働きを助け保護してくれ、ガン予防になります。たくさん食べて冬を乗り切りましょう。

材料(4人分)

・ぶりの切り身	4切れ	・サラダ油	大さじ2
・ごぼう	1/2本	・酒	1/4カップ
・にんじん(小)	1本	・しょうゆ	1/4カップ
・れんこん(小)	1節	・みりん	1/4カップ
・ゆずの皮	少々	・小麦粉	適量

熱量	290kcal	塩分	1.2g
タンパク質	18.9g	食物繊維	2.3g
脂質	15.2g		

作り方

- 1 ごぼうとにんじんは大きめのさがきにし、ごぼうは水に10分さらし、アクを抜く。れんこんは厚さ3～4mmの輪切りにし、酢水につけてあくを抜く。
- 2 ぶりは両面にかるく小麦粉をはたき、平鍋にサラダ油を熱して、両面をこんがりと焼く。鍋の油を捨てて酒、しょうゆ、みりんをぶりに回しかけ、野菜を加えて蓋をし、煮汁がなくなるまで弱めの中火で煮る。器に盛り、ゆずの皮のせん切りをのせる。

病院開設記念の料理紹介



- * 赤飯
- * 祐庵焼き
- * 松風焼き
- * エビ・里芋・南瓜
- * 紅白なます
- * 巻き昆布
- * すまし汁

杉の子 子育て 支援会

梨狩り体験

リハビリ室 上葉 亮太

平成25年9月15日、子育て杉の子会より、荒尾市の本田観光梨園に梨狩り体験に行ってきました。大人38名、子供44名の総勢82名の参加となりました。

当日は天気にも恵まれ、晴天の中で集合写真を撮ることが出来ました。本田観光梨園の方には梨の取りかたを教えて頂きました。初めての梨狩りに子供達は大はしゃぎで、とてもにぎやかで笑顔

の絶えないイベントとなりました。また残暑の中での梨狩りを体験することができ、子供達に『この暑さの中で頑張っている方々のお陰でおいしい梨を食べることができる』ということを教えることが出来ました。きっと今回の体験が子供達にとって、人や食べ物に対し感謝する気持ちと豊かな心を育むきっかけになると思います。

親子で楽しい時間を過ごすことができ、ありがとうございました。



杉 病 院 軟 式 野 球 部

杉病院軟式野球部 監督 池田 伸也

皆さんこんにちは、杉病院軟式野球部です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、昨年度までは約10年間大牟田のC級でソフトボールをやっていました。今年度から軟式野球に切り替え、ユニホームも一新し、杉病院軟式野球部として活動しています。今年度は公式戦3試合に出場し、全敗という残念な結果に終わりましたが、来年度こそは1勝出来るよう部員全員練習に励んでいます。練習は毎週木曜日の夜、甘木中学校のグラウンドを借りて行っていますが、和気藹々とコミディカルのよきコミュニケーションの場にもなっているようです。私自身も、公式戦で打席に入る時の緊張感は、普段の日常生活ではなかなか味わえない貴重な時間となっています。このような環境を与えていただいた院長先生に感謝し、1球1球楽しみながら、部員全員で勝利に向かい、努力していきたいと思います。これからも応援よろしくお願いいたします。



祝!!

ビーチバレー
ナースカップ初優勝

薬剤室 溝脇 拓

10月6日(日)大牟田市立体育館で病院・施設対抗第11回ナースカップが開催されました。今年は大牟田・玉名地区から17の施設全41チームが参加し、当院からも2チーム参加しました。



結果はBチームが見事Aパートを優勝しAチームも惜しい試合もありましたが練習の成果を出せたと思います。当日は試合以外でも他施設との交流を深めることもでき楽しくプレーすることができました。来年は2連覇に向けチームワークを大切に、練習を頑張りたいと思います。

平成25年9月28日、29日で広島県の宮島に1泊2日の職員旅行に行ってきました。

1日目は気持ちの良い秋風の中、少し紅葉した木々などの景色を楽しみながら錦帯橋を渡りました。ガイドさんから錦帯橋を下から見ると算盤の形に見えると聞きましたが、残念ながら私にはそのようには見えませんでした。その後、宮島のホテルに移動し、厳島神社の見学に行きました。厳島神社は昼と夜に二度訪れましたが、昼間は鹿がとても近い距離に来てくれてかわいかったですし、ガイドさんから神社の歴史など教えてもらいながら見学できたので勉強にもなりました。また、夜はライトアップされた厳島神社は幻想的な雰囲気とても素敵でした。



in
宮島

薬剤室
馬見塚麻美



2日目は自由行動でそれぞれのグループで下関市内や門司港レトロ街を観光しました。

日頃、中々話す機会のないスタッフとも交流できとても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

職員
旅行

in
石垣島

リハビリ室
上田 英司

平成25年10月19日～21日、職員旅行で石垣島に行ってきました。

石垣空港に到着し、バスに乗り換えて石垣島観光へ出かけました。10月末とは思えないぐらいの暑さでした。

石垣島観光は展望台・川平湾に行き、透き通るような青空とキラキラ輝く海がとても感動的でした。夜の宴会では、賑やかで普段なかなか接することのないスタッフ達とお話することができ、お酒もすすみとても盛り上がりました。

翌日、離島観光班、ダイビング班とフリー班に分かれ、私はダイビング班で石垣島の綺麗な海の中へ。天候にも恵まれ透明度の高い海だからこそ、まるで海の中を散歩しているかのような感覚を味わうことができ、熱帯魚や珊瑚礁など大自然に触れることができ癒されました。

去年から職員旅行に参加させていただいていますが、今回もスタッフ達と交流することができて非常に充実した楽しい旅行となりました。このような機会を与えていただき、本当に感謝しています。

